市民ひろば

発行人　市民ひろば編集委員会
〒411-0858
三島市中央町3-32 小出ビル3F
代表　小野 啓一
電話：055-994-9211
shimin_hiroba@ybb.ne.jp
振替 00870-5-153264

ひろば新聞定期購読者募集
申し込みは上記連絡先へ
毎月3000部発行
年額1000円

SHIMIN-HIROBA
じゆうとへいわ

書き留めて ㉙　あさの かずこ

夏帽の袴田が街を往くその日常よ
静かに続け
―人生の晩年をゆたかにたっぷりと―

七人の命を奪うその朝にあなたの
胸は傷みませんか
―総理に、法相に問いたい―

こんなことでいいのか？

市長の“品位”を疑う奇怪な行動

去る7月12日「三島駅南口の整備を考える市民の会」代表の渡辺豊博氏等による2度目の監査請求に対して、三島市監査委員会は「請求要件を満たしていない」として、市民の疑問にフタをする様な門前払の回答を下した。7月23日、渡辺氏ら市民の会は市長に面会を求め「反対署名」を手渡したところ、冷静さも品位もかなぐり捨てた市長の“奇行”が演じられた。

監査委員は公社の理事 公正判断はできるか？

「三島駅南口の整備を考える市民の会」による2回目の監査請求は6月25日に行われた。それによると三島市は、駅南口西街区の再開発事業で土地開発公社が保有していた土地を、市が公社から買い戻して東急に転売手続きをすべきであった。しかし、そうはせず、土地開発公社に地価相場を大幅に下回る額で東急に直接売却させたため、市は2億7千3百万円の損害を被った。そのため市長に対して、損失額を補填するよう求めたものである。

「殺してくれ」と手を合わせる市長

ところが市の監査委員である税理士玄角裕巳氏、市議松田吉嗣氏の両名は「市長が公社の土地を買い取るか否かの行為は行政上の判断に属する行政管理上のものであって、財務管理上のものでないので、普通地方公共団体の長の財務会計行為に該当しない」として監査請求そのものに対して却下した。三島市のこの監査委員2名は土地開発公社の理事と監事でもあり、言わば「泥棒と警察」が一人二役を演じているとも例えられ、「市民の会」側は“やっぱり”との受け止め方で、代表の渡辺豊博氏は次のステップとして行政訴訟を進めるとの決意を示している。

市長の品位を疑う 奇行は何を意味する？

7月23日、「市民の会」代表らは「南口再開発中止要望」の署名3千7百筆を携え、豊岡市長に面談を求めた。渡辺代表が南口再開発は市長の独断ではなく一旦中止を求めたところ、豊岡市長は、「私を殺して」からにしてくれと、誰もが“ギョッ”とするような言動を繰り返し、市長応接室の壁に向かい胡坐をかいて座り込んだ。「何事も大きなプロジェクトをやるには人柱が必要」と言い「どうぞ殺して下さい」と首に手をやり、打ち首姿勢を取りながら手を合わせ、何度も「殺して下さい」と、正気とも思えない奇行に打って出た。報道記者やカメラマンも多数居合わせる中、予想外の市長の奇行に皆唖然とし、「市長やめて下さい」などと叫んでも聞く耳を持たず、市民の会の何人かの女性は恐れをなして廊下に飛び出したとのこと。

笑いごとでは済まされない 常軌を逸した奇行

冷静に考えればこの市長の突飛な行動は単に笑いごとや、市長の固い決意の表明などで済まされる問題ではない。市長としての人格や品位が投げ捨てられたこと以上に、何よりも「ヤクザ、チンピラ」の世界で通用する脅迫まがいの言動で、開発中止の要請に来た市民に対し口封じのあるまじき妄動に出たともいえる。

これが11万市民の命と生活を預かる市長の言動とは、打ち首姿勢を取りながら手を聞いて呆れるし、市民としても恥ずかしい。「文句があるなら、俺を殺してからにしてくれ」と言われれば、誰でも、もうそれ以上言う言葉を失う。まさに言論封じの「テロ発言」と断じるしかない。

また、別の見方をすれば「豊岡市長は追い込まれている」、そこまで頑な姿勢で、常識を大きく踏み外した行動に出るのは「裏に隠された重大な事案」が潜んでいるのではないかと勘繰られても仕方ないだろう。

また、この突飛な行動はマスコミ等でも大きく報道され、呆れた市民からも「辞職」を求める声さえ上がっている。今年1月、兵庫県西宮の市長は、取材記者に「殺すぞ」との発言で、辞職した例もある。

今年12月には市長選があり、豊岡市長も3期目に挑戦する噂もある。既に県議の宮沢正美氏と若手の石井真人氏が出馬表明を行っている。

次期市長選は全国に恥じない市長の誕生を願うばかりだ。

〈H〉

裸の王様

私達はどう生きるか

吉野源三郎著で羽賀翔一による「漫画 君たちはどう生きるか」（マガジンハウス）が、昨年7月販売以来、好調な売れ行きで二五〇万部を突破しそうだとのこと。原本は一九三七年、青少年向け図書として出版。主人公の少年コペル君が学校や社会の様々な出来事に心を悩ます。それをインテリで失業中の若いおじさんが相談役となり、人と人の繋がり、社会での在り方など、好奇心旺盛な少年が困難を乗り越えていく上でのアドバイスをする筋書き。

吉野源三郎は何を託して青少年向けにこの本を書いたのか。時代は太平洋戦争突入前夜の暗い時代。一九三六年は青年将校らによるクーデター、二・二六事件が勃発。一九三七年七月、盧溝橋事件が引き起こされ日中戦争突入、南京大虐殺事件へと発展。国内では言論弾圧、国家総動員法が成立。一九四〇年には政党が解散させられ大政翼賛会が組織された。

この本の出版6年前、吉野源三郎は治安維持法違反で逮捕された。その時、友人の地下活動家古在由重をかばい官憲の手が彼に及ぶのを食い止めた経験がある。

世論は戦争へと向かう熱狂と不合理な考えが支配的で、国家による戦争への扇動が渦巻いていた。国策に反対する者や社会主義者、共産主義者は片っ端から逮捕投獄される中、当時の青少年に真っ当なものの見方、考え方をどの様に伝えるべきかを苦心したあげく書き下ろした本だ。

目に映るそのものが決して真実ではないとの考えを、コペルニクスの地動説を例に解きほぐし少年にコペル君と名付けた。目の前の商品は、目に見えない多くの人の手を経てそこにある。自分は社会の中で多くの人々とのつながりの中で生きていること等。本の中で著者が訴えかけているのは、自分から見える外の世界をどの様に客観的に見るか。その客観的世界の見方は、自分である主体の在り方と不可分であり、社会や時代、今をどのように捉え、そして「君たちはどう生きるか」と問うている。

70年以上の時を隔てて、今尚、多くの人々の関心を引くのは、「今を生きる自己としての主体を強く意識させる」からではないか？

戦後、荒れ果てた世の中で、民主主義の基盤を作る青少年のバイブルとして読み継がれたという。それが今またブームとして広がっていることは喜ばしいことではある。しかし、どうやら買って行くのは中高年の大人が多いようだ。

再び暗い時代の予感が漂う昨今、権力者におもねる動きが広がる中で、不合理な所業がまかり通り、巨悪が見て見ぬ振りをされ、小悪が叩かれる。マスコミや国民の間には社会正義を求める真っ当な姿勢や価値観が影を潜めている。その意味でまさしく『私達はどう生きるか』が今、問われている。

〈Y〉

自民党って本当におかしい

延長国会の会期末が迫る中、7月19日、参院本会議でカジノ法案が強行可決された。6月末には働き方改革関連法やTPP関連法も強行可決、まともに論議もせずに数にものを言わせたやり方が国会で繰り返されている。与党は数さえそろえば何でもできるとはき違えている。

あれだけ大きく報道され、多くの国民が疑惑と不審を感じながら「森友・加計問題」は真相が解明されないまま、国会は閉会した。

毎日新聞の世論調査では「森友・加計」問題での首相や政府の説明に「納得していない」と答えた人が75%に上り、首相の責任は61%が「ある」と答えた。

7月5日夜、西日本を襲った未曽有の大豪雨、そのさなかに赤坂自民亭（議員宿舎）では首相をはじめ大物閣僚が顔を揃え、酒宴を開いてのドンチャン騒ぎ、主賓格の上川法務大臣はほろ酔い気分で、翌日にはオウム死刑囚7名の死刑執行。7月中に13名全員の死刑を執行した。真実は解明されないまま蓋が被せられた。

国会が閉会し、野党の無力感が漂う中、自民党内では9月の総裁選に向けた動きが活発化している。4、5月頃は、国有地の破格の値引き売却に絡む財務省の文書改ざん、元理財局長佐川宣寿の証人喚問があり、これで安倍政権はお終いだと思われていたが、安倍支持層の30%割れが起こらず、再び政権は持ち直し、今まで以上に自信に満ちた勢いで、総裁3選を目指し、党内を固め始めた安倍晋三首相。

今の自民党内はかつての派閥均衡など形もなく、安倍へ安倍へとなびく者ばかり、知性も品格もない議員が群れ固まって安倍晋三を押し上げる。

歯向かう者は容赦なく叩かれ干される。岸田派もあっけなく糸順、野田聖子は自爆、残るは石破だけ。下馬評では安倍晋三が7割を固めたとの噂。追い詰められた石破がどれだけ頑張れるのか。

〈K〉

百千鳥

▼地球温暖化の原因は二酸化炭素の増加だというのが、現在の学説だ。大気中の温室効果ガスである二酸化炭素の量は産業革命以降確実に増えている。またそれの呼応するかのようにのように、大気の平均気温も上昇しているのも事実だ。

▼地球は太陽からのエネルギーを受け温度が上がる。地表もその温度によって決まる熱（赤外線）を宇宙空間に放出する。二酸化炭素はその熱を吸収して、再び地球に向けて放射し、大気中に蓄積される。これを温室効果という。▼温室効果がないと地球の表面はマイナス15℃と見積もられている。しかし、その効果の働きで地球の表面は平均14℃になってほどよい環境をつくっている。▼宮沢賢治の「グスコーブドリの伝記」という小説に、冷害を防ぐために火山を爆発させて、二酸化炭素を大量に放出させるという場面がある。もちろん即効性があるわけではないが温室効果ガスが増えると気温は高くなる。そのことは昔から知られていた。▼一方で、気温上昇は地球寒冷化を誘発するのではないかという学説ある。海洋の氷が大量に融けると海流に変化が生じ、特に寒流の勢いが強くなって、気候変動を生み出す。寒流により陸地の寒冷化が起こる。その結果、積雪を生み太陽光の反射が増加し地球の熱吸収を減らす。また海水の温度低下は二酸化炭素の吸収量が増え、温室効果が減少するという考えだ。▼どちらが正しいかは不明だが、大気中の二酸化炭素の量は確実に増えている。

〈O〉

【お詫びとお知らせ】先月号は、印刷所の都合により休刊しました。例年8月は休刊のところ発行。次号は9月に発行します。今後ともよろしくお願いします。

NOUCA　古民家
カフェ
紅茶の国スリランカで
極上のコーヒーを発見！
畑毛温泉近くの古民家で
スペシャルコーヒーはいかが？
自家焙煎珈琲 ゲストハウス&カフェ
電話・FAX　055−950−9289
毎週金曜 定休
営業時間　9:00〜18:00
ランチタイム　11:30〜14:00
伊豆の国市奈古谷 1048-1

あんみつ おしるこ
沼津港のオアシス 和風カフェ ねこや
沼津市千本港町 77-4 沼津みなとアートビル
和風カフェ&ギャラリー ねこや
TEL:055-943-5541
営業時間 10:30〜17:30 休み:水曜・木曜
・ギャラリー展示・
6/29(金) 〜 8/28(火)
中国を代表する水彩画家
チェンイー展

文盛堂書店
定期購読の雑誌等、配達承ります
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
営業時間 9:30〜19:00
住所　三島市中央町2−37
（中央町商店街）
電話　055−975−4229
FAX　055−972−3319
定休日 元旦
http://www.e-hon.ne.jp/bec/SHOP52033

長い歴史に培われた確かな目
人生の節目に、信頼の置ける
時計・宝飾・メガネ
小坂
時計の修理、電池交換はもちろん
お手持ちの宝石のリフォームなど
ぜひお気軽にご相談下さい
三島市本町 8-1
055-975-1345

原発稼働40年間、低線量体内被曝の
蓄積で私たちの体はどうなっているの？
測定即修正デトックス
真露（まつゆ）のへや
国際バイオントロジー協会
認定セラピスト 三上真露
411-0801 三島市谷田 173-13
パステルコート田村 101
TEL＆FAX 055-976-8765
携帯　080-3613-6869
HP http://www.akahigenohari.com/